

おおくらむらやなぎぶち

- 地すべりチームは、山形県の要請を受けて、大蔵村柳淵地区で発生した地すべりの災害調査を令和2年8月14日に行い、警戒避難体制及び対策工事についての技術支援を行った。
- 発災直後のUAV写真等から作成した地すべり災害対応CIMモデルを、「バーチャル現場」として、周辺地形の把握や地すべり範囲の推定等の事前分析に活用し、現地調査の効率化を図った。また、関係機関への調査結果説明や報道向けの記者会見においても、視覚的に分かりやすい地すべり災害対応CIMモデルを活用した。



山形県提供
発災直後のUAV写真(8月10日撮影)



地すべり災害対応のCIMモデル



CIMモデルを用いた事前分析



災害現地調査(8月14日)



CIMモデルを用いた調査結果説明(8月14日)



CIMモデルを用いた記者会見